請 願 文 書 表

平 成 ２ ７ 年 第 ５ 回
熊 谷 市 議 会 定 例 会

目　　次

請願第　４号　　（仮称）森林埼群軌道新線の基礎調査に関する請願・・・１

請願第４号　　平成 27 年 11 月 24 日受理

件　　名　　（仮称）森林埼群軌道新線の基礎調査に関する請願
請　願　者　　熊谷市箱田４－１２－２
熊谷市議会ＯＢ会
会長　河西昌美　外 32 名

紹 介 議 員　　栗原健舜、加賀﨑千秋

要　　旨　　別紙のとおり

付託委員会　　総務文教常任委員会

【件　　名】

（仮称）森林埼群軌道新線の基礎調査に関する請願

【請願趣旨】

熊谷市は、大里、妻沼、江南三町と合併し、新熊谷市の将来に大きな期待が寄せられています。その大きな期待のひとつが「(仮称) 森林埼群軌道新線」にあります。

この新線は、東武伊勢崎線太田駅から新幹線の停車する熊谷駅を経由し、東武東上線森林公園駅まで約 30km を新設整備する計画であります。

この計画に当たって、幸い本市には三つの貴重な財産があります。

第一は、新幹線の熊谷駅が県北の重要な乗り換え駅となり得る事。

第二は、旧東武熊谷線の跡地が残されており、熊谷駅太田駅間は、この借用地活用により容易に完成できる事。

第三は、熊谷駅から森林公園駅までの 10km の延伸は、東武東上線と接続し所要時間の短縮や運賃格安をもたらし、沿線地域の発展に貢献する事。

このような貴重な財産は、全国的にも数少ない有効な価値あるものと考えています。

次に「魅力ある都市」の第一条件は、鉄道網の整備であると考えています。そして、この鉄道網の整備こそが、熊谷市の人口増加や企業の進出等により、街の賑わいや雇用の創出を図り、活力ある街づくりに大きな力となると共に、熊谷市はもちろん、国や県が推し進めている諸構想や基本計画等の実現に大きな役割を果たすものと確信しています。

従って、新線の実現は「遠い未来の話」として、手をこまぬくのではなく、魅力ある将来構想として、今からしっかりとした基礎を作成し、一歩一歩着実に推進していく事が大事だと考えています。

その第一歩が、鉄道新線計画の基礎調査だと考えています。

この計画については、埼玉県により平成７年度に調査が行われていますが、正確な資料すら確認できないほど曖昧で、極めてアバウトな調査でした。そのため、市民をはじめ各種団体の理解を得られるような内容ではなく、そのまま時の流れに埋没しておるのが現状であります。

この計画は、前述の通り本市の将来を左右する極めて重要なものであり、そ

れだけに基礎調査もまた「新線整備計画を推進すべきか？否か？」の決断を迫る重要な参考資料であります。従って、このまま放置する事は本市にとって「大きな損失」となり、本市の将来の発展を願う市民の夢と希望もまた同時に失うことになりかねないと考えております。

そのため、県や他市の動向を待つのではなく、本市独自で改めて周囲に信頼される正確で緻密な調査を行っていただきたいと願っています。そして、その調査書を背景に多くの市民の理解を得ながら、県や他市をも動かす大きな力にしていきたいと考えております。

【請願事項】

「（仮称）森林埼群軌道新線」について、下記事項につき本市独自の調査の実施をお願いします。

1　経済効果について

2　社会貢献の効果について

3　収益効果（事業採算性）について

4　顧客意向調査について

5　鉄道事業の整備費（上下分離方式を原則として）

①下のみを行う場合の効果について

②仮称「第１工区」熊谷駅から森林公園駅までについて

③仮称「第２工区」熊谷駅から太田駅までについて

以上、地方自治法第 124 条の規定により、請願いたします。